

2 款 1 項 12 目

第 6 章 「ともに生き、支え合うまちづくり」

～市民とともに地域の絆をそだてる行政運営～

【会計】一般会計

基本施策 11 市民サービスの利便性の向上に努めます

2 款：総務費 1 項：総務管理費 12 目：防災対策費

施策 1 市民が利用しやすい市民サービスの充実に努めます

| | | |
|------|-------------|-------------------|
| 事業 | 12 | ミレニアムセンター佐倉管理運営事業 |
| 担当所属 | ミレニアムセンター佐倉 | |

【予算額・決算額】(円)

| 予算額 | 決算額 | (財源内訳) | | | | |
|------------|------------|------------|------|------|-----|---------|
| | | 一般財源 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他特財 |
| 37,440,000 | 37,059,490 | 36,616,320 | 0 | 0 | 0 | 443,170 |

【決算額の節別内訳】(円)

| | | | | | |
|----|----------|-----------|----|-----|------------|
| 08 | 報償費 | 30,000 | 11 | 需用費 | 23,406,459 |
| 12 | 役務費 | 1,376,833 | 13 | 委託料 | 12,065,814 |
| 14 | 使用料及び賃借料 | 180,384 | | | |

【実施計画の概要】

| | |
|-------|---|
| 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> 複合施設であるミレニアムセンター佐倉（防災訓練施設、小ホール・会議室・風呂等のコミュニティ施設、市民サービスセンター、消費生活センター等）の管理・運営を行います。 駅前という利便性を活かし、市民の防災意識の啓発や市民生活に密着した行政サービスの提供等ができる施設として効果的な管理運営を行います。 |
| 事業の目的 | <ul style="list-style-type: none"> 利用者が快適に使用できる・市民の安全の確保と駅前の利便性を活かした行政サービスを提供、子どもから高齢者まで幅広く利用できる施設を維持管理します。 防災都市づくりの一環として防災意識の啓発を図ります。 |
| 事業の効果 | <ul style="list-style-type: none"> 駅前という交通の利便性を活かし、市民が気軽に利用でき、くつろぎやゆとりを感じる空間として市民サービス向上につながります。 市の中心的な防災啓発施設として、市民の安全安心な生活に貢献します。 |

【事業の概要】

- 施設の管理として、定期清掃を月 2 回、日常清掃を開館日は毎日行いました。
- 機械設備保守点検、植栽管理等を定期的に行い利用者が安全、快適に過ごせるようにしました。
- 主な支出内訳 ①光熱水費 20,581 千円 ②施設維持管理委託費 12,066 千円
③施設修繕費 2,395 千円

【活動指標・成果指標】

| 指標名 | 平成 25 年度 | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|-------------------|----------|----------|----------|
| ミレニアムセンター佐倉利用開館日数 | 355 日 | 353 日 | 358 日 |
| 施設整備（修繕を含む） | 100% | 100% | 100% |
| 佐倉コミュニティセンターの利用状況 | 71.70% | 73.28% | 71.60% |
| 会議室等・市民風呂利用人数 | 90,983 人 | 99,842 人 | 83,125 人 |
| 消費生活相談件数 | 1,401 件 | 1,240 件 | 1,274 件 |
| 戸籍・住民票等発行件数 | 6,597 件 | 5,975 件 | 6,377 件 |